

前立腺生検パス 入院診療計画書

URY102

患者ID	主治医	病名	説明日
患者氏名	(性別) 担当医	管理栄養士	症状 <input type="checkbox"/> 事前検査による異常所見
生年月日:	(年齢) 看護師	特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> 患部の自覚症状
病棟(病室)	薬剤師	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(排尿困難・頻尿・腰痛)

月日	入院日・検査前	検査後
患者目標	不安なく検査を受けることができる	検査後合併症を起こさない
治療処置注射(内服)	現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無等を確認します 検査前に点滴を開始し、抗菌薬を内服します 検査に呼ばれたら、点滴をしたまま泌尿器科外来へいきます (移動方法は状態によって変わります)	穿刺部はガーゼで圧迫止血します 予定している点滴が終了したら、針を抜きます 眠前までに止血を確認し、ガーゼを外します
検査		
食事	入院時から食事や水分を摂取することができません	帰宅後は水分(水・お茶のみ)を摂取することができます 夕食から食事が開始となります
排泄	検査前は出来るだけ排尿をしないでください	制限はありません
清潔		入浴はできません
活動(安静度)	制限はありません	検査後は止血目的のためベッド上で安静となります (トイレ歩行は可能です)
説明(指導)	入院生活や検査について説明します 義歯・補聴器があるかを確認します ネームバンドを装着します 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します 入院後はパジャマか病衣に着替えます	検査後、車椅子で帰宅します 検査後最初の尿は、尿カップに取り看護師までお知らせください (尿の性状を確認します) 身体に異常を感じた時は、すぐにお知らせください (気分が悪い、尿が出ない、痛みが強いなど)
その他		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

上記のとおり説明を受けました 年 月 日

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに当たって変わり得るものである。

説明を受けた人: 続柄

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

(本人・家族) ()

患者氏名 (性別)

患者ID

月日	退院日	
患者目標	日常生活に支障がない状態で退院を迎えることができる	
治療処置注射(内服)	必要時、血液検査をします	退院時に処方がある場合は、薬剤師からお渡します (不在の場合には看護師からお渡する場合があります) ネームバンドを外します 体温計を回収します
検査	常食(必要に応じて治療食)です	退院後の過ごし方、次回外来について説明をします 次回の外来予約票と診察券をお渡します
食事	制限はありません	会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日) 会計の説明を聞いてからの退院となります (状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます)
清潔	退院日当日は穿刺部からの感染を防ぐため、シャワー浴にしてください	
活動(安静度)	制限はありません	
説明(指導)	退院後1週間は血尿や穿刺部の出血、排尿困難等が出現する可能性があるため、自転車へ乗ることや飲酒を控えてください	
その他		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。